

認知症は身近な問題

「つどいの家千手川」で出前講座

6/12 つどいの家千手川で年3回行っている、健康出前講座が開かれました。今回は、生協病院内科の本田医師が「認知症」について話し



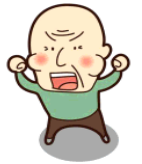
ました。23名が参加し、自分の事や友人の事など、認知症を身近な問題として聞き入っていました。質問でも、「どんな生活をしたらいい?」「何を食べたらいいの?」など、いろいろな質問が出されました。

学習会の後は、血圧、尿、体脂肪測定などの健康チェックを行い、本田医師は、血圧測定を行いました。わきあいあいとお茶をのみながら、健康についての話が、それぞれから出されました。



後期高齢者医療制度、一日でも早く廃止して!!

8回目の年金天引きの日、怒りの宣伝行動



6/15JR和歌山駅前で、8回目の後期高齢者医療保険制度年金天引き日に和歌山県社会保障協議会を中心に怒りの宣伝行動が行われました。参加者は28名で医療生協・民医連から職員11名が参加しました。署名は1時間ぐらいで100筆以上集まり、後期高齢者医療制度への怒りが示されました。県社保協事務局長の佐藤氏が現状と問題点を報告し、医療生協から職員の宮下さんが、医療現場に与える影響を



事例を通して訴えました。高齢者運動連絡会の大森さんは、年金天引き日が8回目を迎えた今日、無駄な予算を削るのが先、大企業には公的支援で国民には自己責任を押し付けるなど、命が最優先の政治へ変えることが大事と話し、1日も早く「後期高齢者医療保険制度」の廃止を実現しようを訴えました。

第1回伊都・橋本「9条まつり」で健康チェック

6/14 橋本市伏原体育館で、第1回伊都・橋本「9条まつり」が開催されました。この日は、うたごえ、マジックショーや和太鼓演奏などの楽しい催しやたくさんの模擬店がならぶ中、250名を超える方々がつどいました。医療生協に健康チェックの依頼があり、体育館の中に健康チェックコーナーを設けていただき実施しました。



橋本市にある「きらきら班」の組合員さんらで、体脂肪や血圧測定などしていただき、33名が健康チェックを受けました。中でも骨密度測定が人気

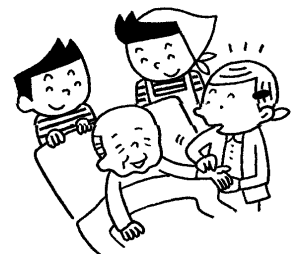
で、60代の男性で、20代の骨年齢の結果が出て大喜び。85歳の女性も数値が平均よりもよかったですので満足されていました。橋本市の通所授産施設の方から、秋のまつりに健康チェックにきていただけるかの質問も受けました。

・・・和歌山市高齢者運動連絡会 第8回学習会のお知らせ・・・

「介護保険制度を考える」

———現場からのレポート———

第2弾



と き 6月25日(木) 午後1時30分~3時30分
と ころ 和歌山市中央コミュニティセンター2階活動室(1)